

## 名簿の作成方法

I 前年度名簿（「全国首長名簿（都道府県知事・全市区長）2014年版」2014年4月30日現在）を基礎に、それ以降に選挙が行われたもの、あるいは、その変化により取捨を必要とするものについて、次の方法で名簿を作成した。

- ① 知事・市区長については、すべて収録した。
- ② 2014年5月1日～2015年4月30日の各新聞などにより、公明党、共産党、社民党、沖縄社会大衆党の公認、推薦もしくは支持の有無を調査し、各政党本部に確認してもらった。ただし、自民党、民主党、新社会党、国民新党、みんなの党、新党改革、たちあがれ日本、日本維新の会、維新の党、次世代の党、国民の生活が第一、生活の党、生活の党と山本太郎となかまたち、結いの党、日本を元気にする会については、朝日、毎日、読売の各新聞情報によった。新社会、社大党、国新、みんな、改、たち日、維新会、維新党、次、国生、生活、生活となかま、結い、元の推薦・支持の有無は備考欄に記した。
- ③ 町村長については、政党の推薦・支持を受けたもののみを、各政党本部の確認により収録した。
- ④ 首長の得票率、議会内党派別の議席数および得票率については、当研究所が各自治体選挙管理委員会の協力を得て調査作成している「全国市区町村台帳」によった。

II 今回の名簿には以下のものを巻末資料として付した。

- 1-1 推薦・支持状況の推移（全国計）市区長
- 1-2 市区長の推薦・支持状況（都道府県別）
- 1-3 推薦・支持状況別の市区名一覧
- 2 知事選挙結果の一覧
- 3 都道府県議会議員選挙結果の一覧

III 名簿の推薦・支持政党の並びを次のようにした。

自	民	公	共	社
自民党	民主党	公明党	共産党	社民党

☆ 不許複製・禁無断転載

### 凡 例

1. 名簿は2015年4月30日現在
2. 当選回数首長個人の連続当選回数（市制施行等の場合も町長等からの連続回数）。
3. 推薦・支持の欄中、◎は公認、○は推薦、△は支持を示す。  
推薦・支持の区別についての各党の基準は次のとおりである。  
ただし、地方支部独自のものは含まない。  
<社民党> 各都道府県連合が推薦・支持を決定。推薦は候補者と政策協定を結ぶことが前提。  
<公明党> 推薦は他政党などと構成する合同選対に参加して支援する場合、支持は他の政党・団体が構成する合同選対に参加せず独自にその候補を推す場合。  
<共産党> 推薦は、原則として候補者と政策協定を結び、共闘組織によって選挙を行う場合、それ以外は支持。
4. 議会内党派別内訳の議席数と得票数は、直近の地方議会選挙時のものであり、選挙後の所属党派の変更や補欠選挙の結果などは原則として含まれていない。しかし、この1年間に市町村合併等で生じた増員選挙は含まれている。
5. なお、推薦・支持政党欄は各党それぞれの公認、推薦、支持の別を示したものにすぎず、いわゆるブリッジ共闘など政党間の共闘関係を示すものではない。